

高齢入院患者に出現した認知症周辺症状とその関連因子に関する研究のお知らせ

【研究課題】

高齢者の入院後に出現する認知症周辺症状の現状と影響する因子に関する調査

【研究期間】

2018年9月1日～2019年12月31日

調査対象期間:2018年2月1日～2018年3月31日

【研究目的】

厚生労働省の統計によると我が国の総人口は、平成29年9月15日現在65歳以上の高齢者人口は3514万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）は27.7%となりました。総人口が減少する中で高齢者が増加することにより高齢化率は上昇を続け、2040年に35.3%になると見込まれています。厚生労働省は、認知症とその予備軍とされている軽度認知障害（以下MCI）の人口は、862万人存在し65歳以上の4人に1人はMCIまたは認知症といわれています。症状はすでに出ているが、受診・診断されていない人を含めると、患者数はさらに増えると考えました。患者の属性と認知症周辺症状の関連について明らかにすることで、今後患者さんの安全・安楽な入院生活に対し早期に介入できるのではないかと考え今回の研究を取り組みたいと思いました。

【対象・研究方法】

2018年2月～3月に当院に入院した65歳以上の患者のうち入院後13日までに認知症ケアの計画立案・看護介入をした患者さんが対象となります。診療録の中において年齢、性別、入院となった主疾患、既往歴、検査データ、長谷川式認知症スケールの各項目別の点数、認知症周辺症状に関する情報を匿名化し、集計・分析をおこないます。

【個人情報の取り扱い】

個人情報の保護のため、個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号）は集計しないため、対象者個人の不利益になることはありません。また、診療録から調査研究目的に照らし合わせ、項目や抽出データ等においてコード化して取り扱い、個人が特定されないこと、プライバシーの保護に努めます。

【お問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、対象となる患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：江南厚生病院 看護部 尾関 奈緒美

TEL：(0587) 51-3333（代表）